

日本相撲聞芸術作曲家協議会（JACSHA=ジャクシャ）

相撲大好き作曲家たちが
五ヶ瀬でかなてる相撲音楽



【プロフィール】

日本全国に伝わる相撲神事や大相撲をリサーチし、相撲に耳を傾けること（相撲聞：すもうぶん）によって、新たな芸術を創造する作曲家の協議会。メンバーは、共同作曲のパイオニアの野村誠、世界各地でサイトスペシフィックな作品を作る樋山智子、沖縄民謡や映画音楽でも活躍の鶴見幸代。2008年の設立以来、『相撲聞芸術研究室』および『JACSHA 土俵祭り in 岩槻』（さいたまトリエンナーレ、2016）や、『オペラ双葉山～竹野の段』（城崎国際アートセンター、2020）、鑑賞支援つき「新・感・覚コンサート」（iichiko 音の泉ホール、2025）ほか、市民参加型のイベントやパフォーマンス、インスタレーションなどを多数発表。



宮崎市指定無形民俗文化財

木花相撲踊り保存会

宮崎を代表する民俗芸能

五ヶ瀬町にて初のパフォーマンス

木花相撲踊りには、江戸時代の終わりに相撲興行の余興として行なわれた甚句踊り等の遺風が見受けられ、相撲が芸能と深く結びついて行なわれていたことを知ることができます。明治・大正期を通じ、昭和の初め頃まで、地方では豊作を神に感謝し、男女こぞって祝相撲を奉納する行事が全国的に行なわれていましたが、その後、これらの踊りが急速に消滅していった中で、木花相撲踊りが延々と踊り継がれていることは貴重です。シュロの皮で作った鬚のカツラに豆絞りの鉢巻きをしめ、浴衣の両袖を抜き、黒袴の青襦袢、腰には紅白のしめ縄をしめ、踊り子のしこ名の頭文字を染め抜いた色彩豊かな化粧まわしをつけた女性ばかり20名程の踊り手が、相撲甚句にあわせて踊るユニークな民俗芸能です。明治初期、大相撲の一行が宮崎地方に巡業に訪れ、3名の力士が居残って木花地方に住み着きこの踊りを広めたと伝えられています。



フォレストピア学びの森

宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校4年生（高校1年生）のみなさん

五訓 志・忠・恕・妙・気 豊かな自然の五ヶ瀬町で野生味あふれる価値を創造する五ヶ瀬中等教育学校。音楽を選択する4年生の音楽授業にJACSHAが飛び込みました。相撲甚句や相撲のリズム、学生の皆さんのギターや太鼓、五ヶ瀬に伝わる踊りなどなどお互いの色々な表現を交感。

これらの出会いから生まれた五ヶ瀬の相撲音楽をJACSHAと共に奏でます。



こども相撲
参加者大募集！
お申し込み



こども相撲大会に参加してくれることもたちを
募集しています！

【参加対象】4歳から中学校3年生まで

【参加費】無料

体育服や運動着での参加OK！ささやか参加賞あり。

みなさんのご応募お待ちしています！



アクセスマップ

会場：五ヶ瀬町民センター
〒882-1203 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町三ヶ所
10693-1